

2024年度

名古屋学院大学 履修証明プログラム

まちづくり 新修プログラム

受講生
募集！

地域商業コース

減災福祉コース

■ まちづくり新修プログラムとは？

本学は2013年度より「地（知）の拠点整備事業」（大学COC事業）に取り組んでおり、地域の活力を取り戻し、持続性の高い地域づくりを図るため、「**地域商業**」「**歴史観光**」「**減災福祉**」の3つの視点からまちづくりを進めています。本プログラムは、その「まちづくり」のうちから「**地域商業**」「**減災福祉**」に関連した授業科目を体系的に編成して皆さまへ提供することで、より積極的な社会貢献を図ることを目的としています。

「地域の経済を元気にしたい」「災害に強い地域にしたい」など、まちづくりに興味がある方はぜひご参加ください！このプログラムで共に学び、一緒に地域を盛り上げましょう！

履修証明プログラム

社会人など学生以外の方を対象としたプログラム。60時間以上の一定のまとまりのある学習プログラムを開設し、終了した者に大学が「履修証明書」を交付するものです。大学の学位に比べて、より短期的に修得することが可能です。

■ プログラム概要

定員

5名

時間割

1時限 9:00～10:30 2時限 10:45～12:15
3時限 13:00～14:30 4時限 14:45～16:15
5時限 16:30～18:00

授業場所

名古屋キャンパス

修了要件

履修期間を連続する2年とし、期間内に対象科目のうち3科目（60時間相当）以上を履修した場合に、履修証明プログラムの修了者として学長名の「履修証明書」を交付します。

修了のためには、「地域商業」「減災福祉」の2つのコースから1つの分野を選択（各コース「まちづくり学」「まちづくり演習」は必修）し、履修する必要があります。

地域商業まちづくりコース

地域の経済を元気に！新しいビジネスチャンスを掘り起こす！

必修科目名	学期	曜日・時限	時間数	内容
まちづくり学 (水野・濱・杉浦)	春	月2限	22.5	商店街を中心にそれに関連する地域コミュニティを対象として、講義形式で商店街の歴史や施策、現況やそれを取り巻く環境を概説し、地域活性化の方向性や社会的意義の基本的理解を得ることを目的とする。
まちづくり演習 (水野)	秋	月2限	22.5	演習形式で、地域商業の活性化の方向性や社会的意義の基本的理解を得るとともに、フィールドワークやプレゼンテーションなどの機会を持ち、実践力を養う。

選択科目名	学期	曜日・時限	時間数	内容
経済社会学	春	月4限又は 木4限	22.5	学際的な分野である経済社会学について、そのアプローチの意義と課題、理論的研究と具体的な分析事例を学ぶことを通じて、経済社会現象をより広い観点から総合的に理解するための基礎を身につける。
名古屋都市論	秋	木2限	22.5	どのように都市空間が形成されてきたのか、都市文化はどのようにつくられていったのか、また発展の推進力となる都市産業の歴史を踏まえながら、名古屋の発展要因または衰退要因について、理解を深める。
情報社会論	春	火2限	22.5	情報社会に生き、かつ、その健全な発展に寄与できる「常識人としての知恵」の基盤を醸成しながら、その理論や実際に対する理解を深めていく。
法学・憲法入門	春	水1限	22.5	本講義では、法律学についての基本的知識の体系的理解と憲法の基礎的知識を得ることができる。
多文化共生社会論	春	月3限	22.5	異なった文化的背景を持った人々の文化を尊重し、権利を保障し、共に生きるという「多文化共生」という理念・施策が重要になってきている。本講義では、そうした多文化社会の現状、成立の歴史・背景を考える。

講義の詳細は本学ホームページに掲載のシラバス（講義・演習の大まかな学習計画）をご覧ください。
※シラバスの内容等については諸般の事情により変更となる場合があります。

減災福祉まちづくりコース

地域とのつながりを活かした、災害につよいまちづくりを学ぶ！

必修科目名	学期	曜日・時限	時間数	内容
まちづくり学 (澤田)	春	金4限	22.5	これまでの災害史と被災の実態、および減災にむけた対策、コミュニティ再生と福祉やボランティア、さらには地域情報の習得など、減災福祉まちづくりの概念と基礎を学ぶ。
	秋	金5限	22.5	
まちづくり演習 (澤田)	春	木4限	22.5	演習では、様々な視点から「減災福祉まちづくり」への理解を深め、平常時や災害時、または地域活動に主体的に貢献できる人材となるための思考力、行動力を養う。
	秋	火2限	22.5	

選択科目名	学期	曜日・時限	時間数	内容
上級まちづくり演習 (澤田)	春秋	火3限 木5限	22.5	本演習では、これまで学んできた基礎的な知識や視点、問題解決に向けて行動する力を活かし、地域に向けた情報発信力や主体的に展開できる力を身につけることを目的として、受講生がプログラムの企画立案から実施までを行う。
経済社会学	春	月4限又は 木4限	22.5	学際的な分野である経済社会学について、そのアプローチの意義と課題、理論的研究と具体的な分析事例を学ぶことを通じて、経済社会現象をより広い観点から総合的に理解するための基礎を身につける。
名古屋都市論	秋	木2限	22.5	どのように都市空間が形成されてきたのか、都市文化はどのようにつくられていったのか、また発展の推進力となる都市産業の歴史を踏まえながら、名古屋の発展要因または衰退要因について、理解を深める。
情報社会論	春	火2限	22.5	情報社会に生き、かつ、その健全な発展に寄与できる「常識人としての知恵」の基盤を醸成しながら、その理論や実際に対する理解を深めていく。
法学・憲法入門	春	水1限	22.5	本講義では、法律学についての基本的知識の体系的理解と憲法の基礎的知識を得ることができる。
多文化共生社会論	春	月3限	22.5	異なった文化的背景を持った人々の文化を尊重し、権利を保障し、共に生きるという「多文化共生」という理念・施策が重要になってきている。本講義では、そうした多文化社会の現状、成立の歴史・背景を考える。

講義の詳細は本学ホームページに掲載のシラバス（講義・演習の大きな学習計画）をご覧ください。
※シラバスの内容等については諸般の事情により変更となる場合があります。



修了生の声

学生に戻った気分で学ぶことができました。

演習科目では学生とともに学外に出ることもあるし、毎回の出席や試験も大変でしたが、どの授業も先生の工夫を感じられる授業で、楽しんで“まちづくり”を学びました！



2016年度修了生 Aさん

募集要項

対象者

高校を卒業された方、または同等の学力があると認められる方。

外国人の方は、上記に加え、日本留学試験を受験している方、科目等履修期間中の在留資格が保障されている方。

受付期間

2024年3月1日(金)～2024年3月8日(金)必着

提出書類

1. 科目等履修願（所定用紙）
2. 履歴書（所定用紙）
3. 最終学校の卒業証明書（または卒業証書の写し）
4. 履修証明プログラム履修願（所定用紙）

※本年度本学卒業見込み者もしくは継続の場合履歴書及び卒業証明書は必要ありません。

※本学卒業生の場合卒業証明書は必要ありません。

※1. 2. 4 は、本学ホームページよりダウンロードください。

提出方法

社会連携センター窓口へご持参いただくか、郵送にてお申込みください。

登録料

10,000円（初回時のみ）

履修料

2単位 20,000円

- ・適切な授業運営のため、応募者が多数の場合は本学にて抽選とさせていただきます。
- ・本学都合により、開講科目の曜日時限が変更になる場合がございます。
- ・本学学生の履修人数により閉講になる場合もございます。
- ・履修可否につきましては3月下旬に郵送で送付させていただきます。

お問い合わせ

名古屋学院大学 社会連携センター

TEL：052-678-4085 E-mail：renkei@ngu.ac.jp

詳しくは

NGU 履修証明プログラム

検索